# 教科目名　英語ＬＬ　(English LL)

**学科名・学年**　：　機械工学科　１年，情報工学科　１年
**単位数など**　：　必修　１単位　（後期１コマ，授業時間 23.25 時間）
**担当教員**　：　穴井孝義

**授業の概要**

英語の４技能の中でも特に「聴く力」と「話す力」に重点を置き，演習形式でコミュニケーション能力を身につけさせる．まず，基本的な発音記号の習得を通して徐々に英語独特の発音に慣れていくことを目指す．また，リスニング演習では，書き取り演習（Dictation）を通して聞き取れなかった箇所を確認し，英文全体が把握できるようになることも目指す．最終的には，英語のネイティブスピーカーと口頭で基本的なコミュニケーションがとれるようになることを目指す．

**達成目標と評価方法**　　**大分高専目標(C2)**

(1) 基本的な発音記号を習得して正しい発音ができ，聞き取れるようになる．（レッスン毎のテスト＋定期試験）
(2) リスニング演習を通じて，必要な情報が把握できるようになる．（レッスン毎のテスト＋定期試験）
(3) 書き取り演習（Dictation）を通じて，聞き取れなかった箇所が把握できるようになる．（レッスン毎のテスト＋定期試験）

| 回 | 授業項目 | 内容 | 理解度の自己点検 |
|---|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 授業の流れや評価方法の解説と諸注意<br><br>＊毎回，口頭での会話練習をしてから，発音演習と Dictation を含んだリスニング演習を実施する． | 【理解の度合い】 |
| 2 | 発音演習＋リスニング演習 | | |
| 3 | 同上 | | |
| 4 | 同上 | | |
| 5 | 同上 | | |
| 6 | 同上 | | |
| 7 | 同上 | | |
| 8 | 後期中間試験 | リスニングテストを含む | 【試験の点数】　　点 |
| 9 | 後期中間試験の解説と学習指導 | | 【理解の度合い】 |
| 10 | 発音演習＋リスニング演習 | ＊毎回，口頭での会話練習をしてから，発音演習と Dictation を含んだリスニング演習を実施する． | |
| 11 | 同上 | | |
| 12 | 同上 | | |
| 13 | 同上 | | |
| 14 | 同上 | | |
| 15 | 後期期末試験 | リスニングテストを含む | 【試験の点数】　　点 |
| | 後期期末試験の解答と解説 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 履修上の注意 | 授業の前には，自宅でテキストに付属の「ディクテーション・ノート」や音声ＣＤを十分に活用しておくこと．<br>演習主体の授業を展開するので，欠席をしないように心がけること．<br>授業後は，付属の音声ＣＤを使って十分に音読の復習をすること． | 【総合達成度】 |
| 教科書 | 桐原書店編集部編，Hyper Listening Introductory 3rd Edition－10-minute English Listening Training，ピアソン桐原．齋藤勉監修，「改訂版　英語の発音ノート」，数研出版． | |
| 参考図書 | 英和（和英）辞書．『理工系学生のための必修英単語 COCET 2600』，成美堂． | |
| 自学上の注意 | 既習の英文については，ナチュラルスピードで音読ができるように，付属のＣＤを使ってしっかりと練習すること． | |
| 関連科目 | 英語ＩＡ，英語ＩＢ，英会話，英語ⅡA，英語ⅡＢ | |
| 総合評価 | 達成目標の(1)～(3)について定期試験(2 回分)とレッスン毎のテストで評価．総合評価＝定期試験(80 点)＋レッスン毎のテスト(20 点)．総合評価が 60 点以上を合格とする．再試験については，総合評価が 40 点以上の学生に限って１回のみ実施．授業態度の悪い学生は 10%を上限に減点する． | 【総合評価】　　点 |

# 教科目名　英語ＬＬ　(English LL)

**学科名・学年**　：　電気電子工学科　１年，都市・環境工学科　１年
**単位数など**　：　必修　１単位　（前期１コマ，授業時間 23.25 時間）
**担当教員**　：　穴井孝義

**授業の概要**

英語の４技能の中でも特に「聴く力」と「話す力」に重点を置き，演習形式でコミュニケーション能力を身につけさせる．まず，基本的な発音記号の習得を通して徐々に英語独特の発音に慣れていくことを目指す．また，リスニング演習では，書き取り演習（Dictation）を通して聞き取れなかった箇所を確認し，英文全体が把握できるようになることも目指す．最終的には，英語のネイティブスピーカーと口頭で基本的なコミュニケーションがとれるようになることを目指す．

**達成目標と評価方法**　　**大分高専目標(C2)**

(1) 基本的な発音記号を習得して正しい発音ができ，聞き取れるようになる．（レッスン毎のテスト＋定期試験）
(2) リスニング演習を通じて，必要な情報が把握できるようになる．（レッスン毎のテスト＋定期試験）
(3) 書き取り演習（Dictation）を通じて，聞き取れなかった箇所が把握できるようになる．（レッスン毎のテスト＋定期試験）

| 回 | 授業項目 | 内容 | 理解度の自己点検 |
|---|---|---|---|
| 1 | オリエンテーション | 授業の流れや評価方法の解説と諸注意<br><br>＊毎回，口頭での会話練習をしてから，発音演習と Dictation を含んだリスニング演習を実施する． | 【理解の度合い】 |
| 2 | 発音演習＋リスニング演習 | | |
| 3 | 同上 | | |
| 4 | 同上 | | |
| 5 | 同上 | | |
| 6 | 同上 | | |
| 7 | 同上 | | |
| 8 | 前期中間試験 | リスニングテストを含む | 【試験の点数】　　点 |
| 9 | 前期中間試験の解説と学習指導 | | 【理解の度合い】 |
| 10 | 発音演習＋リスニング演習 | ＊毎回，口頭での会話練習をしてから，発音演習と Dictation を含んだリスニング演習を実施する． | |
| 11 | 同上 | | |
| 12 | 同上 | | |
| 13 | 同上 | | |
| 14 | 同上 | | |
| 15 | 前期期末試験 | リスニングテストを含む | 【試験の点数】　　点 |
| | 前期期末試験の解答と解説 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 履修上の注意 | 授業の前には，自宅でテキストに付属の「ディクテーション・ノート」や音声ＣＤを十分に活用しておくこと．<br>演習主体の授業を展開するので，欠席をしないように心がけること．<br>授業後は，付属の音声ＣＤを使って十分に音読の復習をすること． | 【総合達成度】 |
| 教科書 | 桐原書店編集部編，Hyper Listening Introductory 3rd Edition－10-minute English Listening Training，ピアソン桐原．齋藤勉監修，「改訂版　英語の発音ノート」，数研出版． | |
| 参考図書 | 英和（和英）辞書．『理工系学生のための必修英単語 COCET 2600』，成美堂． | |
| 自学上の注意 | 既習の英文については，ナチュラルスピードで音読ができるように，付属のＣＤを使ってしっかりと練習すること． | |
| 関連科目 | 英語ＩＡ，英語ＩＢ，英会話，英語ⅡA，英語ⅡＢ | |
| 総合評価 | 達成目標の(1)～(3)について定期試験(2 回分)とレッスン毎のテストで評価．総合評価＝定期試験(80 点)＋レッスン毎のテスト(20 点)．総合評価が 60 点以上を合格とする．再試験については，総合評価が 40 点以上の学生に限って１回のみ実施．授業態度の悪い学生は 10%を上限に減点する． | 【総合評価】　　点 |